

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。  
近代における山梨ゆかりの人物の  
功績などを紹介しています。



### 旧知事室

残された当時の家具類  
や写真などから、創建  
時の知事室の内装を  
復元しました。昭和  
初期の香りを感じ  
てください。



### 県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰  
囲気を感じられる空間としました。  
中央のモニターで県政の歴史などをご覧  
いただけます。



### 3階 正庁

県庁内の特別な行  
事を行う場所です。  
残された写真から  
当時の姿に復元し  
ました。年間10回程度講座  
等も開催します。



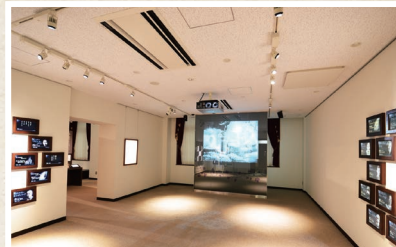
### 人物紹介室

テーマに沿って9人の  
人物を詳しく紹介しま  
す。中央では、近代化の  
象徴である中央線笹子  
トンネルの歴史を映像  
で紹介しています。



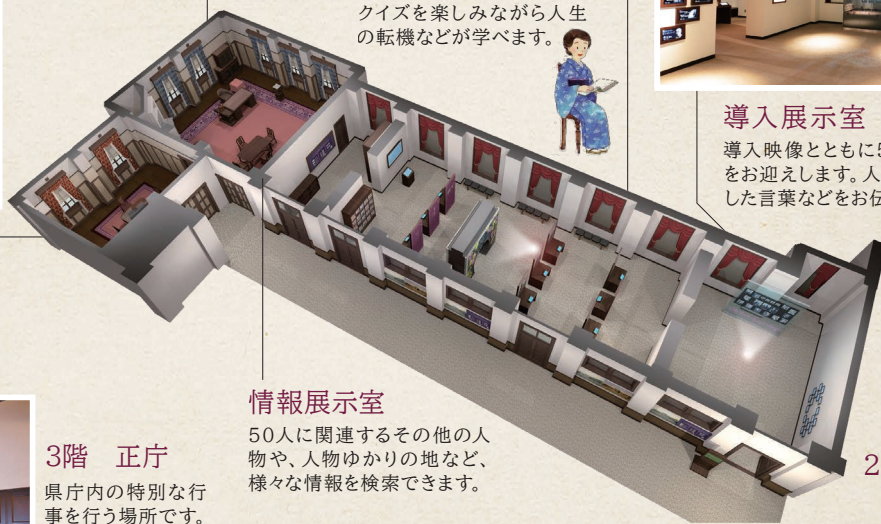
### 子ども向けコンテンツ 「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物の  
クイズを楽しみながら人生  
の転機などが学べます。



### 導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さま  
をお迎えます。人物の功績や人物が残  
した言葉などをお伝えしています。



### 情報展示室

50人に関連するその他の人  
物や、人物ゆかりの地など、  
様々な情報を検索できます。

### 2階展示施設

### Information

開館時間／午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)

休館日／毎月第2・第4火曜日 12月29日～1月3日

その他展示替え等により臨時に休館する場合があります

入館料／無料

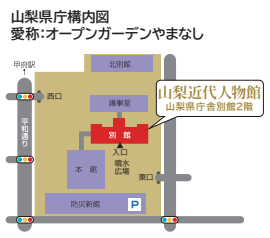
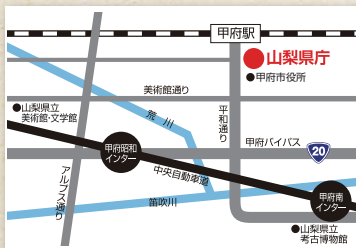
## 山梨近代人物館

The Museum of  
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階

TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991

<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第6回展示

平成29年10月1日(日)～平成30年3月27日(火)

県庁舎別館展示施設

# 山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、  
近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物の中から50人を選定し、この中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

## 第6回展示「日本の発展に貢献した山梨の人々」

日本の近代化の光と影のなかで、生活や産業の発展のために貢献し、その礎を築いた多彩な山梨の先人たち。彼らは時代が求め、人々が必要とするものを見抜く、すぐれた先見性や公益性をその行動原理としていた。山梨出身の彼らもたらした事業や根本となった哲学は、現在でも私たちの社会や生活のなかにも息づいている。

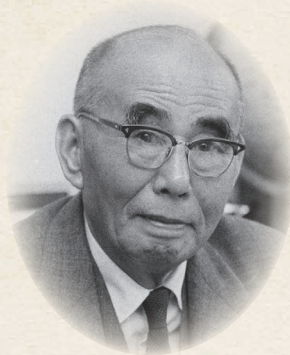


こばやし いちさぶろう

**小林 一三**

(韮崎市 1873~1957)

鉄道を中心に利用客を創出する多角経営モデルを生み出した、阪急電鉄の創業者。阪急百貨店や宝塚歌劇団の創立など、大衆文化にも影響を与えた。



いしばし たんざん

**石橋 湛山**

(東京都港区 1884~1973)

「小日本主義」を唱え、『東洋経済新報』で活躍した気骨の言論人。戦後政界入りし、第55代内閣総理大臣を務め、退任後に中華人民共和国との国交回復にも尽力した。



はった たつや

**八田 達也**

(山梨市 1854~1916)

生涯を通して養蚕の技術改良や養蚕業者の組織化を進めた。また『蚕事輯説』や『新撰養蚕書』などの技術書を刊行した。



ねづ かいちろう

**根津 嘉一郎**

(山梨市 1860~1940)

東武鉄道など全国の私鉄経営に手腕を発揮し、「鉄道王」と呼ばれた。図書館や県内全小学校へのピアノの寄贈など、教育にも足跡を残した。



なとり まさき

**名取 雅樹**

(甲府市 1814~1900)

山梨の機械製糸業の第一人者。勸業政策に熱心だった藤村紫朗県令のもとで、甲府錦町に県勸業製糸場を建設し、その運営に取り組んだ。



くりはら のぶちか

**栗原 信近**

(韮崎市 1844~1924)

藤村紫朗県令のもとで、山梨最初の銀行である興益社および第十国立銀行の設立と経営にあたるなど、山梨の殖産興業に尽力した。



ないとう たちゅう

**内藤 多仲**

(南アルプス市 1886~1970)

日本の耐震建築に発展をもたらした建築構造学者。多くの耐震建築や東京タワーなどの電波塔を手がけ、「耐震構造の父」「塔博士」とも称される。



おがわ まさこ

**小川 正子**

(笛吹市 1902~1943)

東京女子医専(現在の東京女子医科大学)で学び、長島愛生園(岡山県)でハンセン病医療に尽力。その体験を綴った『小島の春』を刊行する。



はやかわ のりつぐ

**早川 徳次**

(笛吹市 1881~1942)

ロンドンで地下鉄の有用性を痛感して日本での実現を目指す。関東大震災を乗り越え、日本最初の路線である浅草・上野間を開業した「地下鉄の父」。